

# 解説普及員を養成

## 盛岡広域振興局の講座始まる



東北誘致

宇宙誕生の謎に迫る大型加速器国際リニアコライダー(ILC)解説普及員の養成講座(盛岡広域振興局主催)は19日、盛岡市内でスタートした。ILCは本県の北上山地(北上高地)が建設候補地とされる世界的プロジェクト。公募で選ばれた3人がILCの基礎



ILCについて理解を深める普及員ら講座の参加者

的な知識を学び、2019年度から出前授業で講師を務める見通しだ。

3人は、同振興局IT連携コーディネーターの佐藤清忠さん(68)、奥州市を拠点に活動するいわてILC

加速器科学推進会議の沢口照夫さん(71)、岩手大理工学部職員藤崎聡美さん(45)。同日は盛岡市北飯岡

のいわて産業振興センターで、県職員と同センター職員からILCの概要や加速器の仕組みについて説明を

受けた。県科学ILC推進室の佐々木淳室長は「ILCを活用して地域をどう変えるか一緒に考える空気をつくるのが大切だ」と助言した。

今後、9月に茨城県つくば市の高エネルギー加速器研究機構(KEK)、10月に県内で出前授業を視察する。

藤崎さんは「岩手から新しい科学が発展すると県民が実感できるように活動したい」と力を込めた。